



奈良県知事

荒井正吾

奈良県の女性は、多方面で元気いっぱいにご活躍される方々が多いと思います。今月の特集で取り上げている、女性社長比率全国5位、女性

管理職割合近畿1位、女性従業員30%以上の企業割合全国2位などの数字がその一端を示しています。

一方、女性の就業率は、最近の上昇率が全国1位となりましたが、長い間全国最下位を続けてきました。

また、健康寿命のランク(平成30年)も、男性が全国4位である一方、女性は全国25位にとどまっています。

このことから、県が今やるべきことが見えてきます。それは、「県内での女性の就業の場・活躍の場をもっと作ること」と「奈良の女性の健康を維持向上する仕組みを構築すること」だと思います。具体的には、「県内で通勤可能な女性の就業の場を更に創出していくこと」と、「医療・介護・予防・検診の心理面も含めたアクセスをもっと良くすること」を実現することだと思っています。

女性が、全国一元気で輝く奈良県になるよう願って、知恵をしばり、努力をしたいと思います。

毎月11日は人権を確かめあう日

人権コーナー



東京オリンピック・パラリンピックで広がる国際交流

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピック・パラリンピックは、スポーツを通して、国籍や文化の違いを超え、世界中の人々が交流できる絶好の機会です。県内でも、県をはじめ、奈良市・大和郡山市・天理市・橿原市・田原本町の6団体が、ホストタウンとして事前合宿の受入などを行い、大会参加国・地域との交流を進めています。

訪日外国人数は、2018年に初めて3,000万人を超え、2013年からの5年間で約3倍となりました。東京オリンピック・パラリンピックの開催をきっかけとして、さらに多くの外国人が日本を訪れ、県内でも外国人との交流の機会が増えるでしょう。

国籍や文化、言語の違う人たちが集まれば、お互いに戸惑うこともあるかもしれませんが、しかし、まずは、私たち一人一人が「おもてなし」の気持ちを持って迎えることが、国際交流の初めの一步として大切なことではないでしょうか。大会参加国・地域について調べてみたり、困っている外国人の方を見かけたら勇気を出して声をかけてみたり、小さなことから交流の輪を広げてみませんか。

今月のポスター



五條市立五條西中学校 3年  
しみず だいぢ  
清水 大地さん



県立山辺高等学校 1年  
にしおか まりな  
西岡 愛里菜さん

※学校名・学年・氏名は発表時のものです。

クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で  
21ページで紹介した  
三輪にゆうめんセット  
(おだし・カレー)を  
5名にプレゼント!

提供：三輪素麺工業協同組合

締め切りは3月31日(消印有効)



○にあてはまる数字を教えてください。

Q 国際女性デーはいつ?

A 3月○日 (ヒントは1~2ページ)

1月号の答えは“1300”でした。応募総数1363件。

ハガキにクイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取り上げてほしい話題・改善点など)を記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。  
④www.pref.nara.jp/30222.htmからも3/1以降応募できます。  
※個人情報、プレゼントの発送以外には使用いたしません。